

今大会は日本ボート協会競漕規則に準じレースを運営するが、特に下記の事項に注意し、レースに臨むこと。

1. 健康について

選手は自己の責任において体調を万全に整えてレースに臨み、気分がすぐれないときは、レース前・レース後を問わず、最寄りの審判員及び役員に申し出ること。給水にも気を配り、熱中症などにならないように注意すること。

2. 安全と事故防止について

レースは安全と事故防止を何よりも優先して運営する。レース中、天候の急変やコース状況の悪化等により、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中止することがある。

3. 航行ルールについて

本大会の航行ルールを別紙に示す。出漕クルーは航行ルールを守り、周囲に十分注意し、事故を起こさないようにすること。航行ルールを違反した場合は警告の対象となる。なお、ゴール方向へ向かって練習できるのは、レース通過後次のレースの発艇までとする。

4. 救命具について

各漕手・舵手の最も近いところに、個人用の救命具(浮き輪・救命浮環・ライフジャケットなど)を常備すること。救命具とは、落水した場合に自らの身体を水面に浮かしておくだけの能力持つ物を言う。救命具を所持せずにレースに参加したクルーを発見した場合、そのクルーは失格とする。安全第一でのレース運営のため、今大会においては上記を遵守すること。※今次朝日レガッタで救命具不携帯クルー有⇒既に棄権していたので失格にはならず。

5. バウナンバーについて

出艇前にあらかじめ定められたレーンを確認し、正しい番号のバウナンバー※を装着すること。バウナンバーの不装着は除外になることがある。

※・材質…プラスチック、または木製 ・寸法…縦25cm 横15cm 厚さ2mm ・地色…白色 ・文字色…黒色
・文字サイズ…縦 20.5cm 横 11.5cm 太さ 3cm

6. 発艇定刻に遅れる場合

出漕クルーは発艇定刻 2 分前までに所定の発艇位置(ステッキボート)に着かなければならない。艇の故障等で定刻に遅れる場合は、速やかに最寄りの審判員に申し出ること。事情を考慮の上、最大 15 分程度、発艇定刻を繰り下げる場合がある。許可無く発艇位置に着くことを遅延した場合、そのクルーを待つこと無く発艇し、そのクルーは失格となる。

7. 発艇号令について

発艇号令が聞こえない場合がありうるので、クルーは旗の動きを見てスタートすること。 発艇の合図にもかかわらず発艇しなかった場合は失格となる。なお、発艇猶予を求める挙手は認められない。各クルーは発艇定刻 2 分前までに準備を完了し、ロールコール開始後はいつでも発艇できるようにしなければならない。

8. 警告と予選における除外について

警告の種類にかかわらず、同一レースで 2 度警告(フォルススタートを含む)を受けた場合、除外を適用する。なお、予選でスタート前およびスタート時、ならびにレース中に除外となったクルーは、他クルーとの公平を期すため予選レースで全距離を漕了しなければならない。この際、まじめな態度および正常な競漕速度で漕了しない場合、または、接触・妨害をおこした場合は失格となる。

9. レース中の注意

すべてのクルーは自己のレーンを進行し、他のレーンの侵害や、他艇の妨害をしてはならない。特に危険な場合は、

主審が白旗を掲げ、『○○、止まれ!』と当該クルーだけに警告することがある。この警告を受けたクルーは直ちに漕ぐのをやめ、安全を確認後漕ぎ始めること。

・本コースは、1,600m 付近の艇庫側で船台がコース側に張り出し、6 レーンとの間隔が狭くなっている。5 レーン 6 レーンを使用して競漕する艇は十分に注意すること。

・1,700m から 2,000m にかけては艇庫側の水域が大きく広がってコースと岸が平行でなくなるため、自己のレーンを見失うケースが多く見られる。自己のレーンをしっかりと確認し漕行するよう努めること。

・審判艇が、レース状況により遅れたクルーを追い抜くことがある。その際にそのクルーは審判艇の波を受けることもあるかもしれないが、容赦してもらいたい。

10. シングルスカル選手の落水について

シングルスカル選手が落水した場合、自力で乗艇し決勝線を通じた場合は着順を認める。但し、主審が危険である、もしくはレース運営に支障があると判断した場合は救助する(扱いは途中棄権)。なお、落水時にストレッチャーから足が抜けなくなることがあるので、ヒールローブは必ず結び、すばやく靴を脱ぐことのできる長さに調整すること。他種目の選手の落水については競漕規則に順ずる。

11. レース終了後

フィニッシュ後は、全クルーがフィニッシュし、白旗が挙がるまでその場で待機すること。レースに異議がある場合、レース成立を示す白旗が挙がる前までに審判員に申告しなければならない。レースに何らかの問題があった場合は、主審より赤旗が挙がるが、この場合審判員の指示に従うこと。また、フィニッシュ後に艇の上で仰向けに身体を休めることは、危険であるので厳禁とする。

12. 舵手計量について

今大会は舵手計量を競漕規則と同じ形式で行う。第 25 条をよく確認しておくこと。デッドウエイトが必要な場合、主催者側が用意する。デッドウエイト携行を命ぜられたクルーは、当該レースに携行すること。不携行は失格となる。

・計量は大会本部 3 階(新艇庫 3 階)で行う

・計量所での飲食は厳禁とする

・計量時間に遅刻すると失格となる

13. 服装について

各クルーとも統一したユニフォームを着用し、不揃いな服装で出漕してはいけない。アンダーシャツやタイツも統一すること。また、帽子・はちまき等を着用する場合には、着用する者間で統一したものを着用すること。

14. 安全でスムーズな大会運営に関して

本大会の主旨は関西の覇者を目指して臨む選手権である。選手権である以上、2000m を他のレーンを侵害することなくレース速度で漕了できるクルーを最低限の基準として、レース運営を行いたい。よって、この基準に満たない、もしくは安全に漕行できない、次レースの出漕時間や他クルーに迷惑や影響を与えたりするクルーは、出漕を遠慮いただきたい。

15. コース閉鎖について

競漕開始 60 分前にコースを閉鎖する。コース閉鎖中は、レースに出漕するために回漕するクルー以外はコースに入れない。競漕終了後にコース閉鎖解除の放送をする。

16. 伴走について

いかなる場合も、コースに沿いにクルーに伴走することを厳禁する。危険な自転車による伴走を発見した場合は、関係団体を失格にする。